

7月31日(月)

## 敬 虔 で あ り 続 け る こ と

聖書朗読 ヨハネ 15 : 18~25

彼らは理由なしにわたしを憎んだ。

ヨハネ 15 : 25

イエス・キリストを憎んでいる人がいると信じることは難しいですが、それはまさに私たちが歴史を通じて見てきたことです。多くの人々がイエス様はご自身で名乗られたような存在ではないと主張し、キリストとその救いの勧めに反旗を翻します。

イエス様が別れの言葉を弟子たちに告げたとき、イエス様は弟子たちにもまたこれからの人生の中で試練に直面することを理解することを望みました。イエス様の弟子たちは単にキリストとの関わりがあるという理由で世界の憎しみを受け取ることになるだろうと。イエス様は弟子たちに、世界は理由なく (25 節) イエス様ご自身を憎むだろう (18 節) と思わせました。

ウァレンス皇帝が古代の歴史家エウセビオスを、全財産の差し押さえ、拷問、追放、あるいは死をもって脅したとき、勇敢なクリスチャンであるエウセビオスは、「失うものはないのだから、押収を恐れる必要はない。天が自分の国なのだから、追放を恐れる必要もない。ひと振りですべてが破壊されるときに苦しみを恐れる必要もない。死は、自分を罪と悲しみから自由にするたった一つの方法なのだから、死を恐れる必要もない」と答えたと言われています。

人生で試練に直面する時、私たちはいつも、イエス様が私たちの従うべき偉大な模範を残してくださったことを思い起こすべきです。神様の御心に対して敬虔であるという模範です。世界の憎しみに直面した時にさえも、私たちが敬虔であり続けられますように。

讃美歌 267

祈り 親愛なる主よ、私たちが人生の中で試練に直面する時、安心、平安、そして力をお与えください。あなたがいつも共にいてくださって、限度を超えて愛してくださっていることを覚えていられますように。イエス様の御名によって。アーメン。

ケイス・ハリス

テキサス州 ルイビル

## 今日のカ

2023年7月31日~8月6日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月1日(火)

## 成長して友情となる

聖書朗読 ヨハネ 15：9～17

わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。  
ヨハネ 15：15

友達は、知り合いよりも親しい関係です。知り合いとはあなたがなんとなく知っている人のことを指しますが、友情は誠実さと信頼の度合いも含意します。イエス様が弟子たちに友人として話したとき、イエス様と弟子たちの関係がその深みにまで成長したことを示していました。主と友人になることができる可能性について熟考することは、なんと光栄なことでしょう！

しかしながら、神様は私たちのフェイスブック上の友達でも、一緒にコーヒーを飲む仲間でも、ゴルフをするパートナーでもありません。神様は他に比類のない、私たちの聖なる友人なのです。私たちが神様を軽く扱うなら、私たちと神様との友情関係は実りあるものとはなりません。アブラハムは「神の友」と呼ばれました(ヤコブ 2：23)。神様はモーセと「人が自分の友と語るように」語りました(出エジプト 33：11)。誰もが神様によく知られ、究極的に愛されているにも関わらず、すべての人が神様の友となるわけではないです。

子どもが親と友達になる前に成長する必要があるのと同じように、私たちも神の友となるために成長する必要があります。アブラハム、モーセ、そして弟子たちは最初からそのように呼ばれたのではなく、むしろ成長して友と認識されるようになったのです。子どもが尋ねたがるように——「まだ僕たちはそこに着いていないの?」と。

讃美歌 321

祈り お父様、イエス様を通して私たちを引き寄せてくださることに感謝します。私たちはあなたのそばに生き、あなたの友人として知られることを望みません。イエス様の御名によって。アーメン。

ブルース・グリーン  
カンザス州 オペリカ

8月2日(水)

## 無罪

聖書朗読 ヨハネ 19：1～9

私はこの人には罪を認めません。

ヨハネ 19：6

イエス様の最後の日は私にとって、聖書全体の中で最も読んでいて辛い箇所です。福音書の著者たちが記述する殴打、拷問、あざけりの試練は時に驚くほど耐え難いものです。しかし私がこの記事を読むとき、ピラトの発した一言がほとんどいつも私の心を打ちます。「私はこの人には罪を認めません」(6節)。ピラトは正しかったのです。イエス様には何の罪もありませんでした。彼はユダヤ人の王でしたが、そこには何の罪もありません。ただの事実です。イエス様の人生には、神の言葉に対する罪も違反もありませんでした。

しかし、私の人生は? そしてあなたの人生は? それは別の物語です。分るでしょう、ピラトの官邸で行なわれたことには、罪がありました。しかしそれはイエス様の罪ではなく、私たちの罪です。イエス様は罪のために死にましたが、それはイエス様の罪ではありませんでした。イエス様が支払ったのは、私たちの罪の代価だったのです。兵士たちの蛮行や虐待を受け入れることによって、イエス様は神様の御心への謙虚な服従としてすべての罪の重荷を背負われたのです。今日、私たちが神様の恵みへの感謝を示す生き方をできますように!

讃美歌 136

祈り 私たちのお父様、イエス様の犠牲のゆえに、あなたに感謝します。あなたが私たちの死の代わりにイエス様の死を受け入れてくださったことを感謝します。そして私たちの祈りは、あなたが私たちにしてくださったことへの応答に生きることができるようになることです。イエス様の御名により。アーメン。

チャド・エゼル  
テネシー州 ミラン

8月3日(木)

## テテレスタイ(完了した)

聖書朗読 ヨハネ 19:28~30

イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した。」と言われた。

ヨハネ 19:30

棺桶が開かれ亡くなられた方と対面する時、あなたの脳裏に去来するものはなんでしょうか？ 病に臥せった人の最後の瞬間を思い浮かべますでしょうか？ 自分がその方に言ったこと、言わなかったことに後悔を抱くでしょうか？ その方との完了していない仕事や、目標や、その方との関係を振り返るでしょうか？ 私たちの人生には通らないければならないことがあまりにもたくさんあります。最初に、義務教育、高校。それから私たちは大学に行ったり、あるいは高校から就職したりします。そして学校での授業の他には、課外の活動もあります。しかし、私たちは人生の中でそれらすべてを終わらせることはできないでしょう！ 死は私たちにその事実を思い出させます。私たちは全てを完全にやり切ることはできないので、全てを完全にやり切ったという思いになることは少ないかもしれません。

ですが、私たちはキリストのうちに神様にある平安を持っています！ イエス様は十字架上で言われました、「完了した」と。ギリシャ語では「テテレスタイ」と言います。その意味は最後まで行ない、完了し、実現することです。言い換えれば、「任務完了」ということです。イエス様はそのためすべての代価を支払いました。つまり、完了したのです。私たちに、キリストがすでに私たちのためにしてくださったことを改めてやる必要はありません。「完了した」という言葉は、イエス様が私たちに神様にある平安を保証してくださったゆえに、私たちが主であって完全な人生を生きることを許して下さることを示しています。

非常に多くの人々が平和を作ろうと試みているが、

それはすでになされているのだ。

神はその仕事を私たちに残していない。

私たちがすべきことは、その中に入って行くことだけだ。

D・L・ムーディ

讃美歌 148

祈り 親愛なるお父様、あなたのひとり子の贈り物のゆえに、あなたに感謝します。十字架の御業のゆえに、あなたに感謝します。完了した、あなたの御業のゆえに。キリストが私たちのためにしてくださったことを、私たちはもうする必要がありません。キリストの十字架のゆえに、私たちが罪の意識から解放され感謝をもって生きられますように。イエス様の御名により。アーメン。

ジョシュ・バーネット

テネシー州 ナシュビル

8月4日(金)

## 見ることは信じること

聖書朗読 ヨハネ 20:1-9

見て、信じた。

ヨハネ 20:8

現代技術をもって、才能のある人々はあらゆるものを現実のように見せることができます。外宇宙を航行するロケットのてっぺんに、人が座っているように見せかけることができます。3メートルの人間や、9センチの人間がいるように見せかけることができます。これらのツールが使えるようになると、人は自分が見たものをそのまま信じるのが難しくなるのも事実です。だから私たちは、人々が素晴らしいことをするのを自分の目で見た時に深く感動するのです。カメラ越しでなく。フィルター越しでなく。ただ自分の目と、自分の感覚で受け入れることのできる情報だけで。

イエス様が地上で過ごされた時代は、私たちにとって信じることのできる時代でした。その時代に戻ることができないので、私たちは最初のクリスチャンたちが自分で見て、受け取ったものを信じます。彼らはイエス様が死ぬのを見ました。イエス様が埋葬の準備をされるのを見ました。墓の前に岩が置かれるのを見ました。見張りの番兵がいるのを見ました。そして、彼らはその墓が空っぽであるのを見たのです！ 初期のクリスチャンたちが見て信じたことを、私たちも自分で信じることができますように。

讃美歌 270

祈り 親愛なる主よ、イエス様の墓が空であるのを見た人々の証言のゆえに、あなたに感謝します。私たちが見ないで信じることのできるよう助けてください。イエス様の御名により。アーメン。

ロバート・P・ミュレン

テキサス州 ノースリッチランドヒルズ

8月5日(土)

## 私たちは祝福されている

聖書朗読 ヨハネ 20 : 24-31

見ずに信じる者は幸いです。

ヨハネ 20 : 29

今日の聖書箇所は聖書の中でも最も興奮する箇所のひとつです。金曜日の残酷な十字架刑の後の日曜日に、イエス様が弟子たちの前に蘇って現れました。しかしその場にいなかった弟子が一人いました。トマスです。他の弟子たちがトマスに主を見たことを伝えた時、トマスは断固として「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません」と述べました。

一週間後、弟子たちは再び集まり、そして今度は、トマスもそこにいました。イエス様は表れてトマスに「あなたの指をここにつけて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい」(27節)と言いました。

この物語は私たちに二つのことを保証してくれます。一つに、すべての人がイエス様にとって重要だということです。イエス様はその場にいなかった一人を納得させるために弟子たちの前に再び現れたのです。二つ目に、主にとって私たちが信じるのが非常に重要だということです。イエス様は「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです」(29節)と言われました。

その言葉はあなたと私に向けられています。私たちは見ていませんが、それでも信じます。ですから、主の言葉によれば、私たちは主を知っているがゆえに祝福されているのです！

讃美歌 280

祈り ああ、私たちの父なる聖なる神様、すべての讃美と栄光があなたにありますように。あなたの御子と信仰の贈り物のゆえに、あなたに感謝します。私たちはあのゴルゴダの丘にはいませんでしたが、それでも信じます。イエス様を通して、祈ります。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウェストレイク・ビレッジ

8月6日(日)

## 奪う神

聖書朗読 使徒 5 : 1-11

あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。 II コリント 8 : 7

私はなぜかいつも、アナニヤとサツピラの物語に当惑します。あなたも知っての通り、彼らはある程度の財産を売って、代金のうちのある程度を教会に捧げました。しかし、捧げたお金の額が代金の全額であったかを問われた時、彼らは嘘をつき、その自分たちの罪のゆえに死にました。

しかし、なぜ彼らはそんなことをしたのでしょうか？ ペテロが指摘した通り、彼らは土地の代金を捧げるように要求されたわけではないのです。代金のすべてを捧げろと要求されたわけでもありません。ただ単に、捧げたいと思う額を申告すればそれでよかったです。おそらく彼らは、自分たちがより大きな犠牲を払っているように見せたいと思ったのでしょう。

ペテロは彼らが人ではなく神と聖霊に対して嘘をついたのだと指摘しました。神様は私たちの捧げものを、その量に関係なく受け入れてくださいます。しかし嘘やごまかしは受け入れてくださいません。旧約ではマラキが、イスラエルが十分の一と奉納物を出し渋ることで神様のものを盗んだと指摘しました(マラキ 3 : 8)。しかし神様は気前よく捧げる人々に対して気前よくお与えくださいます。喜びの心をもってできるものを捧げましょう！

讃美歌 332

祈り 親愛なるお父様、物質的にも、霊的にも、あなたが与えてくださっているたくさん恵みに感謝します。私たちがいつも自分たちの持ち物を捧げることに寛大であり、最終的にはそれらがあなたに属しているものであることを気づくことができるように助けてください。私たちが他の人たちへの祝福を願い求めるとき、私たちが祝福し続けてください。イエス様の御名により。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル

リチャード・トンプソン